

令和3年12月発行 発行者：砺波カイニョ倶楽部 代表幹事：高畑邦男 事務局：砺波市表町14-10

電話090-9444-8655

コロナの感染が収束に向かっていますが、今度は、オミクロン株が世界中に万延しそうな気配です。マスク・手洗い消毒・三密は、今後も続ける必要があります。

## ●富山県生涯学習団体表彰 受賞

令和3年10月2日（土曜日）

富山県教育文化会館にて、生涯学習団体表彰を受賞いたしました。

■受賞内容は、下記に紹介します。

- ・会員62名
- ・活動歴24年
- ・活動内容

砺波平野の散居村の屋敷林（カイニョ）の保存・育成に等に取り組む市民団体。

・具体的活動は、以下のとおりです。

- ①砺波地方を中心としたカイニョ見学会の開催
- ②散居村の景観保全（カイニョの小枝整理・清掃・植樹等）
- ③カイニョや散居村についての勉強会（特に子供達を対象に）
- ④カイニョに関する情報交換（全国屋敷林フォーラムへの参加や誘致）

近年、将来を担う子供達に出前講座を開催し、カイニョの役割や魅力を伝えるとともに、自然との共生について、社会問題・地球環境問題・省エネ問題・CO2問題などに関連させながら、子供達と共に話し合い、砺波らしい環境・景観を残し育てる「人づくり」に努めています。

これからも地域へ貢献できるように活動しています。



## ●令和3年勉強会の開催

- ・日 時 10月23日 午後1時30分より午後15時30分
- ・場 所 円成寺（砺波市表町地内）
- ・テーマ 「みんなのカイニョを考える」
- ・参加人数 15名

### 「勉強会での皆さんの意見」

- N 警察の取締りがあり、剪定・掃除した物が、燃せない状況にある。  
焚き火程度は、遣りたい。
- NK 同上で少しは、燃したい。
- NO 同上で少しは、燃せる様に見直してほしい。
- KI 燃やさなくても、どうにかしている。だから将来を考え燃やさない方向で処理すべき。  
行政は、もっと考え、早急に行動してほしい。
- T 落葉等の処理は、グリーンバスケットで処理しているが、運ぶのが大変。  
少しは、燃したい
- KN 週一回程度燃やしている。その際、風向き・焼却量・他考慮して行っている。  
焼却して屋敷林の維持をしたい。
- D 野焼きじゃなく焚き火である。  
認められる焚き火は、有るのではないか。（となみ方の焚き火）  
焚き火をするための方法をみんなで考えては、どうか。
- M 例外もあるはずだ。  
たとえば、小布施では、剪定したりんごの木などは、OKである。
- KA 野焼き・焚き火をやらない方法を考えている。  
おばあちゃんは、周りに迷惑にならないように燃している。
- KW 野焼きは、OKではないか。
- M 野焼き・焚き火は、将来を考えてNOではないか。
- S 妻は、掃除した落葉は焚き火をしている。  
焼却出来る状況で行っている（風向き・時間・量・他）  
昭和43年以前は、燃料として使っていた・
- T 野焼き・焚き火は、NOである。  
屋敷林は、みどりの環境として大切であり自分一人のものではないのでは
- A ゴミでは、ない。 資源である。

## 意見の集約（ポイント）

今回の勉強会に出席された方は、散居村・砺波のカイニヨ（屋敷林）をこよなく愛している方々でした。

直面している問題が落葉等の処理であり焼却処分派と資源利用派の二分した意見でした。そんな中、両派が歩み寄り今後の方法を模索しました。

「となみ方の焚き火もあってはいいんじゃないか、焚き火時の焼却チェックリストを作り活用しては、貴重な資源で使用価値がある」

砺波市では、秋の剪定枝リサイクル大作戦があり1760台の車両で172トンが運び込まれました行先は、堆肥にされ再度活用されます。（ちなみに、グリーンバックは、12万枚製作したとのことです）

今後、散居村・カイニヨ（屋敷林）を継承していくには、たくさんの方々の動力が必要です。個人では、限界があります。

地域ぐるみの活動が必要不可欠です。その活動は、地域間のコミュニケーションが活発になり空き家対策・一人暮らしの方などにもメリットがあると思います。

今回のリサイクル大作戦は、自治会関係者が地区内回収をして運搬した例も報告されています。このような活動が、カイニヨの保全継承になる第一歩ではないでしょうか。

現在屋敷林が約7000軒有りますが、近い将来もっと減少すると思われま  
す。4000軒に成っても屋敷林を後世に残そうでは、有りませんか。



勉強会の様子

## ●連絡事項

### 1、カイニョの清掃を行います

- ・日 時 令和4年3月20日（日曜日）
- ・場 所 砺波市頼成560 武部 由美子 宅  
場所の地図等は、2月中旬に再度連絡します。

### 2、絵画の巡回展示

- ・砺波市内小中学校12校全校巡回展示完了
- ・観覧した人数は、約4200名
- ・今後の展示場所 鷹栖小学校に令和5年10月まで展示  
(当小学校は、令和4年度30周年 令和5年度150周年)

### 3、東部保育所園児屋敷林の見学会

- ・11月29日・30日両日、高畑邦男宅の見学がありました。
- ・カシの実（ドングリ）を2個ずつ拾い楽しく遊び、手をつなぎ帰りました。

### 4、柏樹直樹初代代表幹事に会より長年の功績に感謝し感謝状を贈呈しました。



10月23日  
感謝状贈呈の様子

## ■ 事務局から

野焼きについて事務局に届いた意見です。「先日までコンクリートのU字溝などで黒い煙の一般ゴミを燃している風景が沢山見えました。その際、枝葉を入れ枝葉を燃していると言っている」とのこと。これはルール違反。そして火の扱いや近隣への注意の欠落が多数あったようです。当然、枝葉だけを燃している人もいます。野焼きは、みなで「ルールを守ります」とはっきり言う事でしょう。

勉強会では、私は市街地に住んでいますがカイニョの良さや利点などの意見を聞きたかったです。良さを感じないと残らないでしょう。SDG2、環境悪化の時代、カイニョは改善薬であり子供の情操教育と自然学に最高の場ではないでしょうか。

木は燃してもCO<sub>2</sub>は成長時に吸っていますので問題ありません。世界や日本に沢山の木々があり多くの恩恵をうけているはずです。もっと植樹しませんか。東京の新宿御苑では大量のゴミとなっていた枝葉が燃料として利用され、全世界、日本各地で知恵を絞っているようです。枝葉は資源です。ネットの時代ですから皆様少し調べてみて下さい。